

ASM リヤ強化サブフレームGT

この度は、ASM製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

当社製品を取り付ける前に、本書、製品の取扱説明、および車両のサービスマニュアルをよく読み、各種の注意事項、取り付け方法などを理解してから作業に取り掛かって下さい。製品取扱説明書は、いつでも参照できるように大切に保管して下さい。

製品の装着、使用、およびメンテナンスが正しく行われない場合、いかなる事故があらましても、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。尚、製品の取り付けに関してご不明な点がございましたら、ASMまでお問い合わせ下さい。



品番:ASM-AP100211

安全上のご注意



警告

回避しなければ、死亡または重傷に至る可能性がある、潜在的な危険があることを表しています。



注意

回避しなければ、軽度または中程度の人体の傷害に至る可能性がある潜在的危険、または物的損害の発生が予測されるような危険があることを表しています。



警告

- ・本製品を取り付ける前に、必ず本取扱説明書及び車両のサービスマニュアルをよく読み、各種注意事項、取り付け方法等を理解してから作業を行なって下さい。
- ・本取扱説明書は、いつでも参照できるように大切に保管して下さい。
- ・感電等による事故を防止するため、作業を始める前にバッテリーのマイナス端子を外し、マイナス端子を絶縁テープ等で養生してまわりに触れないようにして下さい。
- ・作業は2人以上で行なって下さい。
- ・作業は車両のエンジンを停止し、車両を十分冷却してから行なって下さい。
- ・作業は整備工場などのリフト設備の整った場所で、パーキングブレーキをしっかりとかけてイグニッションキーを抜き、車両を固定した状態で行なって下さい。
- ・作業する際は、適切な用具・工具を使用して下さい。



注意

- ・作業は安全な場所で、適切な工具を使用して下さい。
- ・本製品の取り付け及び使用は、正常な状態の車両においてのみ行なって下さい。車両に異常のある場合や、正常に使用されていない場合には取り付けしないで下さい。
- ・本製品の取り付け及びメンテナンスは、推奨する方法により、詳細な自動車整備の知識と資格を持った方が行なって下さい。
- ・本取扱説明書に従い、ボルト等をしっかりと締めて下さい。
- ・本製品を取り付ける前には、仮装着をし、不具合がない事を確認して下さい。
- ・本取扱説明書の内容が、本製品をご使用になる国及び地域の法律、規制と異なる場合は、各法律及び規制に従って取り付け、ご使用下さい。
- ・車体の取り付けカ所に異常がある場合は、本製品の取り付けが困難な場合があります。
- ・作業手袋を使用するなどし、安全に作業を行なって下さい。部品や工具などで怪我をする恐れがあります。

ASM リヤ強化サブフレームGT

パーツリスト

- ①リヤサブフレーム本体
- ②取扱説明書(本書)



【重要】

使用責任

本製品は、モータースポーツ用パーツです。使用方法、場所を誤るとパーツ本体や車輛の破損、最悪の場合は身体に影響が及ぶ事があります。本製品の性格をご理解頂き、使用者ご本人の責任において使用、管理して下さい。

公道走行時

一般公道で使用する際は、点検、整備を確実にいき、道路運送車両法等の関係の注意、法令の定める範囲内で正しくご使用下さい。

【ご注意】

1. 取り付ける車両の型式と当製品の適合車種が合致していることをご確認下さい。
2. 当製品を正しく装着し、正常に機能させる為、取り付けは作業に適した自動車整備事業所にご依頼下さい。また作業の方は装着手順に従い正しく装着して下さい。
3. 適合車種以外の車両への装着は絶対に行なわないこと。
4. 当製品の加工、改造は絶対に行なわないこと。※切断、溶接、加熱等の行為も含む。
5. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタつき等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。
6. 当製品の装着作業はエンジン停止後、エンジンが完全に冷えてから行なうこと。エンジンが高温時の作業は火傷等の事故の原因になり危険です。
7. 当製品を装着後、車両に異常を感じた場合、走行中を問わず、直ちに運転を中止し自動車整備事業所で点検を行なって下さい。
8. 万一、当製品にぐらつき、破損等の不具合が発生した場合は、製品の脱落等の危険を招きますので使用を中止して下さい。
9. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

取り付け作業手順

純正パーツの取り外しは、メーカーの発行するサービスマニュアルを参照し、正しく行なって下さい。

I 純正サブフレーム<リヤ>取り外し

- a. HONDAサービスマニュアルに沿って、マフラーとプロペラシャフトとスタビライザーを外します。
- b. サブフレームについているブレーキパイプとダンパー下側のロアアームと締結されているボルトナットを外します。
- c. ジャッキ等でデフキャリアを支えながらサブフレームを固定しているボルト6本を緩めてサブフレームを降ろします。

II 純正サブフレームからの部品移設

- d. HONDAサービスマニュアルに沿って、スタビライザー、ディファレンシャルケース、ナックル、アーム類をアッセンブリーで移設します。
 - スタビライザーブッシュホルダー 締付けトルク
54N・m(5.5kgf・m)
 - スタビライザーリンク 締付けトルク
43N・m(4.4kgf・m)
 - ロアアーム 締付けトルク
前側:**123N・m(12.4kgf・m)**
後側: **74N・m(7.5kgf・m)**
 - エンジンマウントスチフナー 締付けトルク
38N・m(3.9kgf・m)
 - アッパーアーム 締付けトルク
132N・m(13.3kgf・m)
 - コントロールアーム 締付けトルク
54N・m(5.5kgf・m)
 - ディファレンシャルケース 締付けトルク
デフマウント前側:**45N・m(4.6kgf・m)**
デフマウント後側:**75N・m(7.6kgf・m)**
 - ドライブシャフト 締付けトルク
83N・m(8.4kgf・m)
 - リヤサスペンションスチフナー 締付けトルク
45N・m(4.6kgf・m)

本製品のお問合せ先



AUTOBACS ASM YOKOHAMA

〒231-0801

神奈川県横浜市中区新山下2-4-7

TEL:045-629-0905

取り付け作業手順

Ⅲ ASMリヤ強化サブフレームGT取り付け



e. 外した時と逆の手順でASMリヤ強化サブフレームGTを取り付けします。

f. サブフレームを固定しているボルト6本、プロペラシャフト、ダンパー下側のロアアームと締結されているボルトナットを固定します。

- サブフレーム固定ボルト6本 締付けトルク
前側2本: **103N・m(10.4kgf・m)**
後側4本: **59N・m(6.0kgf・m)**

- プロペラシャフト 締付けトルク
AP1: **32N・m(3.3kgf・m)**
AP2: **49N・m(5.0kgf・m)**

- ロアアーム締結ボルトナット 締付けトルク
64N・m(6.5kgf・m)

g. HONDAサービスマニュアルに沿って、マフラーとプロペラシャフトを取り付けます。

h. 最後にアライメントを調整し、各所適正に取り付けできているかチェックを行ない、作業終了です。

本製品のお問合せ先



AUTOBACS ASM YOKOHAMA

〒231-0801

神奈川県横浜市中区新山下2-4-7

TEL:045-629-0905